

基本方針 5 豊かにくらすことができる環境の整備・創造 項目数 3 3

(1) 食の安全の確保に向けた取組の推進

取組内容	推進状況	担当課
1 食の安全に関するシンポジウム・講座等の開催 消費生活講座などの事業の中で、テーマとして「食の安全」を取り入れて開催する。	「くらしのなっとくゼミナール」を「食品表示」をテーマに実施 第 2 回 10/16 テーマ「知って得する食品表示～JAS 法における表示のポイント」 参加者 45 人 (「くらしのなっとくゼミナール」を「食品表示」をテーマに実施 第 3 回 11/29 テーマ「食品表示」 参加者 44 人)	文化市民局 市民総合相談課
2 「市民料理教室」等、実践型講座の開催 魚介類の調理法の普及及び生鮮食品の流通における食の安全や食文化等についての学習を目的に水産協会との共催により「市民料理教室」を開催する。	市民料理教室 5/27 「包丁教室」 参加者 91 人 11/10 「鮭料理」 参加者 190 人 12/15,16 「京風おせち料理」 200 人(参加予定) (5/28 「包丁教室」 参加者 76 人 11/11 (午前・午後) 「鮭料理」 参加者 190 人 12/8,9 「京風おせち料理」 参加者 179 人)	文化市民局 市民総合相談課
3 食品・衛生に関する講座・教室の開催 (再掲)	参照 4 - (2) - ア - 5	
4 「ふれあい食体験教室」等、食育に関する講座の開催 (再掲)	参照 4 - (2) - ア - 6	
8 小学校給食における地産地消(知産知消)の推進 (再掲)	参照 4 - (2) - イ - 12	
10 「市場見学会」の開催 (再掲)	参照 4 - (2) - ア - 7	
11 「鍋まつり」の実施 栄養バランスがよく食品としても優れた特性を持つとともに、みんなで楽しむことのできる「鍋」をキーワードに、市場の食材を使った新しい鍋メニューの提案や食育の推進等に取り組む。	(市場まつりの中で実施) 市場まつり 11/23 開催 来場者数 約 80,000 人 (11/23 来場者数 約 62,000 人) (平成19年度:市場開設80周年を記念して、「市場まつり」及び「食のシンポジウム」を実施。) (食のシンポジウム 10/6 開催)	産業観光局 中央卸売市場第一市場
12 「ミートフェア」の実施 中央卸売市場第二市場が食肉の流通に重要な役割を果たしていることや食肉卸売市場の機能を広く市民にPRし、併せて食文化の向上と国産牛肉の安全・安心・美味しさを広く市民に啓発することで食肉の消費の拡大を図る「ミートフェア」を実施する。	11/11 開催 来場者数 約 3,200 人 (11/12 来場者数 約 2,600 人) ・食肉についての普及、啓発(パネル展示、冊子の配布) ・京都肉等の銘柄和牛の試食、販売 ・産地直送の農畜産物品の販売等	産業観光局 中央卸売市場第二市場

13 「食の海援隊・陸援隊事業」の実施 食の海援隊・陸援隊(市場会員制度)の活動を通じて、食に関する様々な知識や経験を積み、生産者や市場関係者とともに食のあるべき姿を考える市民を育成する。	会員579人 講演会1回 産地支援ツアー2回 食情報誌の発行 3回 (会員 565 人 講演会2回 産地支援ツアー2回 食情報誌の発行5回)	産業観光局 中央卸売市場第一市場
14 旬の時期の栽培推奨による京都市内産の野菜の減農薬・減化学肥料栽培の普及 野菜本来の旬の時期の栽培を推奨し、旬野菜品評会の開催や販売促進活動を行う一方で、生産農家に対して減農薬・減化学肥料栽培を指導して、環境に優しい安全・安心な農業を普及する。	旬野菜認定農家戸数 616 戸(9月末現在) (586 戸)	産業観光局 農業振興整備課

(2) 環境に配慮した活動の推進

取組内容	推進状況	担当課
1 環境に関するシンポジウム・講座等の開催 ・ 地球環境問題連続セミナー 大学生、企業経営者、市民等を対象に、「地球温暖化」をテーマに、専門的なセミナーを開催する。 (3回連続のセミナーを実施した。 第1回 11/25 「地球温暖化のしくみと影響」「地球温暖化問題に国際社会はいかに取り組んでいるのか」 125 人参加 第2回 12/9 「京都議定書の目標を日本は達成できるのか」「地域発！地球温暖化防止」 128 人参加 第3回 12/23 「京都市の地球温暖化対策」「私たちができる省エネのとりくみ」「地球に優しいエネルギーをつくりだす」「地球に優しい私たちの街づくり」 115 人参加	3回連続のセミナーを実施予定(平成20年2月～)	総合企画局 地球温暖化対策室
2 過大包装疑義商品試買調査の実施(再掲)	参照 1-(2)-ア-3	
3 過大包装・過剰包装に関する事業者団体への注意喚起	中元期、歳暮期に要請文送付 京都百貨店協会等 11 件	文化市民局 市民総合相談課
4 環境家計簿の普及 「環境家計簿」を用いて、市民による環境への負荷の少ない生活(エコライフ)を普及させる。	・環境家計簿：参加者 677 人(9月末現在) (1,428 人 3箇月版環境家計簿を 11 月に改訂した。) ・こどもエコライフチャレンジ：参加児童約 900 人(231 人) 子ども向け環境家計簿「こどもエコライフチャレンジ」を用いて 11 小学校(3校)で、5年生児童を対象とした学習会を実施し、子どもを中心に家庭でエコライフに取り組んだ。	総合企画局 地球温暖化対策室

取組内容	推進状況	担当課
5 環境に配慮した商品購入の促進 ・グリーン購入促進事業の推進 京都グリーン購入ネットワークと協働し、商品やサービスを購入するときに、環境への負荷が出来るだけ小さいものを選んで購入するグリーン購入の普及活動に取り組む。 ・家電製品の省エネラベルの普及促進 家庭からの温室効果ガスの排出量を抑制するため、京都市地球温暖化対策条例で家電製品への省エネラベルの貼付を義務付け、消費者の省エネ機器の購入を促進させる。	グリーン購入促進事業の推進 ・「エコ発注ソフト」の普及 ・企業見学会の開催 ・サンプル商品セットの充実 (・「エコ発注ソフト」の普及 ・企業見学会の開催 ・サンプル商品セットの充実) 家電製品の省エネラベルの普及促進 (10/1：エアコン、電気冷蔵庫、テレビの3品目とした。)	総合企画局 地球温暖化 対策室
9 ISO14001認証取得を目指す企業への支援 ・環境マネジメントシステムパンフレットの作成 ・環境関連法規の制定、改正の情報提供、相談	企業への情報提供・相談件数 46 件(9 月末現在) (89 件)	環境局 環境管理課
10 京都環境マネジメントシステム規格「KES」の認証の普及 中小企業の環境経営の取組を促進するため、環境マネジメントシステムの国際規格ISOの主旨を活かし、取組内容をより分かりやすく、かつ容易にした規格であるKESの普及促進のため、セミナーを開催し、新たに認証取得する事業者を広げる。	・市内KES認証取得事業者数 477 件(9 月末現在) (439 件) ・環境マネジメントセミナー 開催 1 回 18 人参加(9 月末現在) (開催3回 79 人参加)	環境局 環境管理課
11 業界別自主行動計画の実施・成果に対する支援 廃棄物の排出事業者や処理業者から廃棄物の発生量やその処理状況等と共に、各企業が取り組んでいる自主的な取組についても報告聴取し、これらを取りまとめたうえでホームページなどにより広く公表するとともに、環境問題に取り組んでいる企業を優良事業者として評価したり、廃棄物処理業者の選定に際する情報として活用する。	・制度周知パンフレットの作成 ・ホームページによる公表 2 社(公表分と合わせて9 社) (・制度周知パンフレットの作成 ・「産業廃棄物自主行動計画」説明会 (2 回開催、合計 40 社出席) ・ホームページによる公表 7 社)	環境局 廃棄物指導課
12 小学校・中学校における環境教育の推進 (再掲)	参照 4 - (2) - イ - 14	
13 KES 学校版の取組校の拡大 (再掲)	参照 4 - (2) - イ - 16	
14 「京都環境賞」の実施 市民の自主的な環境保全活動を更に推進するため、先進的・斬新的な手法等で地球温暖化防止や循環型社会の形成など、環境保全に関する将来性のある活動に取り組んでいる方を表彰する。	8/1～10/1 まで募集を行い、選考委員会で被表彰者を決定した。(表彰は京都環境賞 1 件、特別賞 5 件 : 表彰式 11/23) 応募件数 30 件(29 件)	環境局 環境管理課
15 「チャレンジ・エコライフ・コンテスト」の実施 (再掲)	参照 4 - (2) - ア - 9	

17 「伏美eco市」の実施（旧名称「伏見リサイくるとフリマ」） リサイクルという最も身近ですぐに行動に移しやすい環境活動であるフリーマーケットに、楽しみながら環境について考えることのできる「環境啓発コーナー」を併設し、身近な生活環境から地球環境に至るまで、環境問題に対する区民意識の向上を図ることを目的とする。 本年度からは、「伏美eco市」に名称を一新し、環境啓発イベントとしての更なる発展を図るとともに、フリーマーケットの企画運営を納所地域ごみ減量推進会議に移管することにより、区民が主役のまちづくりを積極的に推進し、環境活動の輪を一層広げること図っている。	日時 10/13 午前10時～午後3時 会場 伏見桃山城運動公園 来場者数 約2,500人 内容 ・リサイクル・フリーマーケット(86区画) ・環境啓発コーナー 企画・運営 「きらり伏見区まちづくりプロジェクト会議」 区民ボランティアなどで構成、平成19年度メンバー総数45人。企画・運営の検討のため計6回開催した。 (「伏見リサイくるとフリマ」 日時 11/12 午前10時～午後3時 *雨天のため11/11から順延して開催した。 会場 伏見桃山城 来場者数 約1,800人 内容 ・リサイクル・フリーマーケット(75区画) ・環境啓発コーナー 企画・運営 「きらり伏見区まちづくりプロジェクト会議」 区民ボランティアなどで構成、平成18年度メンバー総数62人。企画・運営の検討のため計10回開催した。)	伏見区役所 総務課
---	---	----------------------

(3) 高度情報通信社会への対応

4 情報化関連トラブルに関する啓発冊子類による情報の提供 情報通信技術の利用が困難な市民にも配慮し、啓発冊子類を利用して情報化関連トラブルへの情報提供を推進する。	・生活情報誌「マイシティライフ」No.194に、IT系の投資ビジネスを題材にマルチ商法啓発記事掲載 ・19年度も引き続き、京(みやこ)くらしの安心安全情報を毎月発行し、不当請求・架空請求の被害相談件数等を掲載。 (・生活情報誌「マイシティライフ」No.190に「電話機リース被害」記事掲載 ・高齢者向け消費者啓発パンフレット「悪質商法！高齢者がねらわれる！！」に架空請求についての記事を掲載。 ・18年10月より京(みやこ)くらしの安心安全情報を毎月発行し、不当請求・架空請求の被害相談件数等を掲載。 ・生活情報誌「マイシティライフ」No.192に「架空請求業者一覧」記事掲載。)	文化市民局 市民総合相談課
---	--	--------------------------

取組内容	推進状況	担当課
7 ホームページ等の情報通信技術を活用した講座, 教室等の学習情報の提供 生涯学習に関する情報を, インターネット及び携帯電話サービスなどにより提供し, 市民の生涯学習活動を支援する。	アクセス件数 9,900 件(9 月末現在) (18,400 件)	教育委員会 生涯学習推進担当
8 京エコロジーセンターにおける環境保全に関するパソコンシステムでの情報の提供 センターの活動をホームページ上で紹介する。さらに環境に関する幅広い情報の発信拠点としての機能を充実させる。	・ ホームページの追加更新 ・ 図書検索システム上の図書の追加更新 など (・ ホームページの追加更新 ・ 図書検索システム上の図書の追加更新 ・ 新パソコンシステムの検討 など)	総合企画局 地球温暖化対策室

(4) 京都固有の生活文化に根ざした活動の推進

1 生活文化に関する講座等の開催 消費生活講座などの事業の中で, テーマとして「生活文化」を取り入れて開催する。	第 3 回 11/9「くらしのなっとくゼミナール」を「環境に配慮した生活～京都固有の“しまつ”の文化を考える～」をテーマに実施 参加者 46 人 (8/8 第 2 回「くらしのなっとくゼミナール(夏休み親子教室)」の開催 テーマ: インターネット, リサイクル 対象: 小学生およびその保護者 参加者 33 人)	文化市民局 市民総合相談課
5 小学校給食における地産地消(知産知消)の推進 (再掲)	参照 4 - (2) - イ - 12	
6 「小学校出前板さん教室」の開催 (再掲)	参照 4 - (2) - イ - 13	
7 「食の海援隊・陸援隊事業」の実施 (再掲)	参照 5 - (1) - 13	
8 旬の時期の栽培推奨による京都市内産の野菜の減農薬・減化学肥料栽培の普及 (再掲)	参照 5 - (1) - 14	
9 小学校・中学校における環境教育の推進 (再掲)	参照 4 - (2) - イ - 14	
10 京町家なんでも相談の実施 (財)京都市景観・まちづくりセンターにおいて, 京町家に関する市民からの相談等について, センター職員が不動産業者, 大工・工務店, 建築士と連携して「京町家なんでも相談」を実施する。	相談件数 234 件(9 月末現在) (311 件)	都市計画局 都市づくり推進課